

歐米外科學雜感

醫學博士 前田 和 三 郎

自分ノ外遊ハ八ヶ月間デ米國ヲ振出しニ英、佛、獨、澳、瑞ノ外科、整形外科及れんどげん學方面ヲ觀察シテ來タ。何分短期ノ旅行デアツタカラ觀察ハ表層デ或ハ肯綮ヲ得テ居ラヌ様ナ點ガアルカモシレンガ、此ハ諸君ノ明智ナル頭腦ヲ以テ御取捨ヲ願イタイ。

〔一〕 手術室ノ組織

無菌の手術室ノ組織ハ之ヲ一室式ト二室式ニ別ツコトガ出來ル、米、英、佛ニハ二室式多ク、獨、澳ニハ一室式ガ多イ。一室式トイフノハ比較の大ナル無菌の手術室一室デ、二室式トハ小ナル無菌の手術室ガ二室アツテ大抵コノ中間ニ器械棚、消毒裝置及手洗場等ノアル小室ガアル、近來二室式手術室ノ増加セントスル傾向ガアル、然シ何レニモ一長一短アルカラ目的ニ依ツテ何レヲ選擇スルモ可ナリデアル。

一室式ノ利害ハ大學臨床等ニテ多クノ外科醫ヲ速ニ養成スル必要上同時ニ數臺ノ手術臺ヲ列ベテ手術ヲ行ヒ、教授ハ其間ニアツテ監督指導ノ任ニ當ル様ナ場合ニハ比較の大ナル手術室一室ノ方ガ監督ニ便宜デアル、然シ患者ノ出入レニ時間ヲ浪費シ、手術室内ガ常ニ雜沓スル傾向ガアル。

二室式ノ利害ハ教室又ハ當科ノ主任ガ自ラ常ニ主術者トシテ手術ニ臨ム場合ニ多ク、一室ニ於テ一手術ヲ行フ間ニ他ノ室デハ次ノ被術者ノ準備ヲ行ヒ置キ、先ノ手術ガ濟メバ直チニ他ノ室ニ行ツテ次ノ手術ヲ行ヒ得ルノデ時間ノ浪費ナク又手術室ハ常ニ整然タルノ觀ガアル、然シ監督指導ヲ行フ點カラ見レバ不便デアル。

〔二〕 手術室ノ採光問題

「手術野ニ充分ノ光ヲ採リ入レル者ニシテ始メテ完全ナル手術ヲ行フコトガ出來ル」トイフノハ外科家ノ金言デアツテ手術室ノ採光問題ハ甚重要ナルコトデアル。

膽道ノ手術、廻盲腸部ノ手術、脾臓部ノ手術或ハ小骨盤内ノ手術ニ際シ深キ手術野ニ充分ノ光線ヲ採リ入レンコトハ外科家ノ最モ苦心スルトコロデアル。

扱テ光源トシテハ太陽光線ト人工光線トノ二種ガアルガ、獨、奥ニ於テハ多ク太陽光線ヲ利用シ、米、佛ニ於テハ人工光線ヲ利用セル傾向ガアル。從來ハ手術室ハ北向トシテ窓ニハ磨リ硝子ヲ用ヒ太陽光線ヲ採リ入レテ室ヲ不遍的ニ比較的和カイ光線ヲ充タシメタイタ、是ハ比較的表層ノ手術ニハ宜シイガ、前述ノ様ナ腹部其他ノ深部ノ手術ニハ不適當デア、殊ニ手術野ノ周圍ハ白イ布ヲ以テ被ハレ四壁ハ白キ壁ヲ以テ廻ラス如キコトハ眼ノ網膜ノ「アダプタチオン」或ハ注意力ヲ手術野ニ集注スル上カライツテモ宜シクナイ、從ツテ理想的ニ云ヘバ周圍ハ暗クシテ手術野ノミニ光線ヲ採リ入レル様ニスレバ注意ヲ此處ニ集注スルコトガ出來テ充分ニ手術ヲ行フコトガ出來ル譯デアル。

佛國バリノドクトール、マルテルノ手術室ハ手術時ニハ窓ニ黒キ「カーテン」ヲ牽キ下ゲテ室内ヲ全然暗室トシ手術臺上ニハ近來諸方デ用ヒラル、様ニナツタ佛國式無影燈（ステアリチク）ヲ吊リ下ゲ、又術者ハ額ニ小電燈ヲ輝カシ手術野ノミニ光線ヲ採リ入レテ手術ヲ行ツテ居ル、其他「バリ」ニハ一、二暗室式手術ガアルカラ全然暗室トナサナクトモ手術室ノ四壁、床及敷布等ノ色モ白ヨリハ寧ロモット落着キアル色ヲ選ブ方ガ宜シカロウト思フ、最近「ライプチツヒ」ノ「セント、ゲオルグ」病院ノドクター、ヘッラーハ此手術室ノ採光問題ヲ論ジ、四壁、床及敷布等ニハ中等度ノ灰色ガ宜シキコトヲ述ベテ居ル、局所麻酔デ手術ヲ行フ様ナ場合、手術室ノ總テガ白ノ如キ刺戟強キ色デアルヨリハモット落着キアル色彩ニ充テル方ガ患者ノ精神ヲ鎮靜セシメル上ニ於テモ宜シクナカロウカ。

(三) 手術室ノ大イサ及其他

(一)、歐米ノ手術室ヲ通覽スルニ手術室ハ目的ノ許ス範圍ニ於テ之ヲ小サクスル傾向ガアル、又天井モ許ス範圍ニ於テ低

クセントスル傾向ガアル、手術室ノ暖房ヲ速カニシテ又浪費ヲ少クスル爲メニハ當然ト云ハネバナラン。

（二）、手術室ハ歐米何地ニ於テモ殆ンド乾燥式デ手術室ニ消毒器ノ蒸氣充チテ風呂場ノ如ク天井カラ露ノ落ツル様ナ手術室ハ目下殆ンドナシ。

（三）、何地ニ於テモ手術室ニハ土足ノマ、ニテ出入ヲ許シ洗場ノ如ク床上ニ水ヲ洗セル手術場ハ少ナシ。

（四）、手術室ニ接シテ手術直後ノ患者ヲ收容スル小室アルモノヲ見タ、術後ノ肺炎ヲ防グ爲メニハ必要ナルコトデアル。

（五）、「ベット」ノマ、手術ニ患者ヲ運搬スル所モ少ナクナイ、其裝置モゴク簡單ナモノデアル。

【四】　消　毒　法

（一）、佛國ハ器械其他一切乾燥消毒法デヤツテイルガ其他ノ米、英、獨、塊等デハ皆蒸氣消毒法デアル、而シテ佛國ニ於テハ各手術ニ要スル器械類ハソレ／＼一纏メトシテ金屬性ノ箱ノ中ニ入レテ消毒シテアル、而シテソレダケノ器械デ手術ヲ了ラセル様ニシテイル、米、獨ニ於テハ始メ多クノ器械類ヲ一纏メトシテ消毒シコレヲ一ヶ所ニ靜置シ置キ各手術ニ必要ナルモノヲ其ノ中ヨリ選リ出シテ用ヒ又手術中ニ若シ足ラザルモノガアレバ其ノ中ヨリ補ツテ居ル、之ハ何レガ宜シイトモ云ヒ兼ネル。

「ウキーン」ノ第一外科アイゼルスベルヒ教授ノ教室デハ蒸氣消毒法デハアルガ前ノ手術ニ準備シテアツタモノハ全部仕舞ツテ次ノ手術ニ必要ナルモノハ新タニ其手術前ニ消毒シ更ヘテ全部消毒シタテノモノヲ持ツテクル之ハ手間ハカ、ルガ氣持ハヨカツタ。

（二）、手ノ消毒ハ歐米何レノ地ニ於テモ手袋ヲ用ヒテイルカラ案外簡單ノ様ニ思ハレル所ガ多イ。

（三）、皮膚ノ消毒ハ大多數ハ沃度丁幾デアルガ二三他ノ色素劑ヲ用ヒテ居ル所モアツタ。

【五】　術　者　數

米、英、獨、埃ニ於テハ主術者ノ他ニ二、三名ノ助手及一、二名ノ看護婦ヲ助手トシテ用ヒテ手術ヲ行ツテイル、佛國デハ多クノ場合主術者ト助手一名トノ兩人ニテ如何ナル大手術ヲモ行ヒ看護婦ヲ助手トシテ用ヒナイ、此兩者ヲ比較スルニ手術時ノ感染ナル問題ニ關シテハ、佛國式ノ優ツテイルコトハ論ヲ要シナイ、從ツテ手術成績モ優良デアロウ。

カク看護婦ヲ除キ單ニ二人ニテ手術スルガ爲メニ佛國デハ手術器械及手術技(テヒニツク)ニモ色々苦心ノ跡ガアル、例ヘバ開腹ヲ行ヘバ開創器ヲ用ヒテ自働的ニ切開創ヲ開カシメ、結紮ノ如キモ左手ニ糸卷ニ卷キツケタル長キ糸ヲ持チ單ニ右手ノミニテ巧ニ結紮ヲ行ヒ自ラ糸ヲ切り放ツテ糸ノ浪費ヲモ同時ニ省クガ如キコトデアル、又佛國式縫合針ノ如キモ單ニ二人ニテ手術ヲ行フ場合ニハナクテハナラヌ器械ノ一ツデアル。

〔六〕 手術器械

米、英及獨、埃ニテハ特ニ新シイ器械ヲ見出サナカツタ、佛國デハマルテル氏ノ「トレバン」ハ特ニ眼立ツタ、同器ハ大ナル窓ヲ開ケルニハ最モ鮮ナルモノデアル、其他(スチアリチク)佛國式無影燈ナリ、是レニハ吊リ下ゲ式ト壁ツケ式トアル、其他小ナル器械類例ヘバ注射器、皮膚縫合器ニ多少ノ苦心ノ跡アルモノヲ見タ、又佛、獨共ニ「プリズム」ノ部分ノミヲ除キタル他ノ部分ヲ全部消毒シ得ル「チストスコープ」ヲ製作シテ居ツタ、概シテ吾々ノ眼ニハ獨、埃ニハ珍ラシキモノ少ク、佛國ニ於テ比較的興味アルモノヲ見タ。

〔七〕 手術術式及其他

個々ノ手術術式ニ就イテ申上ゲルコトハ不可能デアル、又各國トモ老大家トナレバ荒ツボイガ些モ無駄ノナイ手術振ヲ見セテイル、然シ概觀シテ佛國デハ少々ノ出血ハ構ハズニズンズン手術ヲ進メル即結紮糸ヲ多ク手術野ニ殘サヌ様ナ方針が見ヘタ、又「ピンセット」ハ殆ンド用ヒズン／＼手デヤル。獨デハ「ピンセット」ノ使用ニ注意シ、無駄ト思ハル、所マデ結紮シテ居ル様ナ處ガアツタ。患者ノ手術位ノ如キモ佛ノマルテル氏ハ獨特ナ位置即患者ヲ椅子ニ坐セシメ上體ヲ前屈セシメテ前ノ臺上ニ頭部ヲ支ヘシメル體位デ最モ手術ニ好都合ト思ハレタ。吾々モ單ニ先人ノ型ニノミ拘泥セズド

シ、獨特ノ考ヲ發揮シタキモノデアル。

〔八〕 外科學ノ分科及手術材料

外科醫ハ英、米デハ Surgeon 佛國デハ Chirurgien 獨、奧デハ Chirurg ト稱シ、英、米デハ Surgeon ノ中ニ手術ヲ行フ他ノ専門科ヲモ含マセテ居ル。

大體外科學ナルモノハ目下外科學 Surgery, Chirurgie, 及整形外科學 Orthopédie, Orthopédie, Orthopédie ノ二大分科ニ別レテ居ルガ獨、奧ニハ今尙此兩大分科ヲ兼擔セル人少ナカラズ、米、英、佛ニ於テハ多ク分立著明デアル、且「メーヨー、クリニク」ノ如キ材料多キ所ニテハ更ニ多クノ小分科ニ別レテイル。即チ 1) general surgery, 2) orthopedic surgery, 3) neurologic (neuro-) surgery, 4) thoracic surgery, 5) plastic surgery, 6) Proctology, 7) dental surgery 等ニ別レテ各分科ヲ各々一定ノ「ドクター」ガ擔當シテイル。其他 urological surgery, traumatic surgery, children's surgical service 等ヲ標榜セル人アリ、佛國ニ於テハ Chirurgie, Orthopédie ノ外ニ Chirurgie urinaire ガ盛ンデアッタ。

米國ニ於テハ neuro-surgery ヲ標榜セル Surgeon ノ多キコト、實際腦手術ノ材料ノ比較的多キコトハ意外トスルトコロデアッタ、其他スベテ材料ハ新鮮ナルモノ、多キコトデアル、米國デハ膽囊ト虫様垂トヲ同時ニ切除スル手術ヲ多ク見タ、胸腔外科ヲ標榜セル人アルニ拘ラズ胸腔内手術ニハ一度モ出會サズ、ザウエルブルッフノ教室ニ於テモ多クハ「エキストラトラカール」ノ「トラコプラスチック」デ「イントラトラカール」ノ手術ハ稀ナル様デアル、近來我外科教室ニテ行ヘル胸腔内手術ノ臨床例ノ如キモ世界的ニ發表スベキデアル。

〔九〕 外科手術見學問題

「メーヨー、クリニク」ノ見學ノ設備ハ非常ニ至レリ盡セリデアル、「ニューヨーク」市ニハ「ザ、アカデミー、オブ、メデイシン」ガアツテ同市病院ノ案内記ヲ發行シ、滯在中ハ毎日手術豫定表ヲ送ツテクレルカラ見學ニ甚便宜デアル、又「バリ」ニハ「プレッス、メデイカール」ナル醫事雜誌ニ毎土曜日次ノ一週間ノ病院行事ヲ掲載スル、且至ル所見學ニ甚便デ

アルカラ世界至ル所カラ見學者ガ來テ互ニ智識ノ交換ヲヤツテ居ル。我國ニ於テモ東京、京都、大阪或ハ福岡ノ如キ大病院所在地ニ於テハ各週手術其他ノ豫定ヲ醫事新聞卷末ニ掲載シテ地方在住ノ外科醫又内科醫ニモ適當ナル時ニ自由ニ手術ヲ見學セシメテ日新外科ノ進歩ニ遅レザラシメヌ内科家ニ外科的常識ヲ與ヘテ外科、内科ノ融和ヲ計リ進ンデハ外國ヨリノ見學者ニモ種々ノ便宜ヲ與フルコトヲ得レバ日本ノ外科ヲ世界ニ知ラシムル一方法トナルデアロウ。(終リ)